

実践報告

社会福祉法人和歌山県福祉事業団
松本 透



和歌山県福祉事業団

施設の概要

- ・【事業種別】障害者支援施設
- ・【開所年月日】昭和45年12月15日
- ・【利用定員数】生活介護120名・施設入所120名
- ・【概要】A・B・Cの3棟のユニットで、それぞれ二人部屋及び個室で利用者の方の障害特性やニーズに応じた支援を行っている。



対象事例

- Tさん
- 19歳
- 男性
- 知的障害を伴う自閉症スペクトラム症
- 療育手帳A2

成育歴

- ・1歳半検診で保健師より療育の場への参加を勧められ、1歳のころからO親子教室に通い、O児童発達支援事業所を利用し、S支援学校に入学。
- ・小学2年生のころに自宅や福祉サービス事業所、学校・送迎車から逃げ出すことが繰り返されるようになり、7月には自宅から抜け出し、近隣の駅から電車に乗って出かけてしまうという事態が起きました。
- ・令和2年5月にI福祉型障害児入所施設に入所。環境的には飛び出すことはなくなたものの、破衣行為、不潔行為（便を頭にのせる）、異食行為は継続してみられていた。
- ・令和3年10月、異食による腸閉塞を起こしW病院にて手術。
- ・令和5年3月腸閉塞になり、手術。（3回目の開腹手術となり再発のリスクも高くなっていた。）
- ・高等部3年時、進路を考えるにあたり、両親は在宅も視野に入れていたが、常時の見守り困難と判断し、令和6年4月に由良あかつき園利用開始となりました。

課題となっている行動

- ・ 異食
- ・ 破衣行為
- ・ 不潔行為

課題となっている行動

1. 自分自身の生命あるいは健康に著しい危険を与える行動
2. 周囲の人あるいは状況に著しい危険ないし混乱を与える行動
3. 自分自身の意味ある活動への参加や学習を著しく妨げる行動

以上3つの条件のうち少なくともひとつに該当する行動と言われる。

参考文献『発達障害児の問題行動その理解と対応マニュアル』志賀利一

Tさんの課題となっている行動 (異食・衣類破り・不潔行為)

1. 自分自身の生命あるいは健康に著しい危険を与える行動
→衣類を破り、異食する。
2. 周囲の人あるいは状況に著しい危険ないし混乱を与える行動
→支援者が恐怖を感じている。
3. 自分自身の意味ある活動への参加や学習を著しく妨げる行動
→入院の必要があるかもしれない。

スキヤタープロット

観察する行動: ①衣類破り ②頭の上に便を載せる □

	10月10日	10月11日	10月12日	10月13日	10月14日	10月15日	10月16日	10月17日	10月18日	10月19日	10月20日	10月21日	10月22日	10月23日
5:00		②								②			①	
6:00	②		②	②	①	②	②	②	②	②①		②		
7:00		①			①			①						
8:00	①				①									①
9:00		①	①				①	①				①①		①
10:00				①							①	①	①	
11:00		①							①			①	①①	①
12:00				①	①	①	①				①②	①②	②	①
13:00												②	①	
14:00												②	①	
15:00					①			①				①		
16:00	①	①	②	①		②	①	①					①	①
17:00									①①①		②			
18:00	①			①					①				①①	①
19:00		①				①			①		①	①		
20:00	①	①	①	①	①	①	①	①					①	
21:00		①		①			①		①①					
22:00														
23:00														
0:00														
1:00														
2:00														
3:00														
4:00									②					

特性確認シート①

社会性	人や集団との関係に難しさがある	1) 相手への関心が薄い		A) 汲み取ってもらう、察してもらうではなく、具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点) B) 誰にどう伝えたらよいかを具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点) C) 「いつ」「どこで」「何を」の情報を見てわかるように伝える(方法の視点・やりとりの視点)
		2) 相手から期待されていることを理解するのが難しい		
		3) 相手が見ているものを見て相手の考えを察することが難しい		
	状況の理解が難しい	4) 周囲で起こっていることへの関心が薄い		
		5) 周囲の様子から期待されていることを理解することが難しい	✓	
		6) 見えないものの理解が難しい	✓	

(背景となる特性)

(本人の具体的な行動)

「周囲の様子から期待されていることを理解するのが難しい。」ので、「衣類を破ってしまう(善悪の判断や危険に関する認識が苦手)」かもしれない。

特性確認シート②

コ ミ ュ ニ ケ ー シ ヨ ン	理解が難しい	7) 話し言葉の理解が難しい		本人が理解できる見える情報（文章、単語、 D) 絵、写真、シンボル、具体物など）で伝える （やりとりの視点・見え方の視点）
		8) 一度にたくさんのかを理解するのが難しい		
		9) 抽象的であいまいな表現の理解が難しい		
	発信が難しい	10) 話し言葉で伝えることが難しい	✓	本人が発信しやすいツールを（文章、単語、 E) 絵、写真、シンボル、具体物など）提供する （やりとりの視点・見え方の視点）
		11) どのようにして伝えたらいいかわからない		
		12) 誰に伝えていいかわからない		
	やりとりが難しい	13) 場面や状況に合わせたコミュニケーションが難しい		F) 視覚的なツールでやりとりができるように する（やりとりの視点・見え方の視点）
		14) 表情や視線などの非言語コミュニケーションが難しい		
		15) やりとりの量が多いと処理が難しい		

（背景となる特性）

（本人の具体的な行動）

「話し言葉で伝えることが難しい」ので、「衣類を破り、何かを伝えようとしたの」かもしれない。

特性確認シート③

想像力	自分で予定を立てることが難しい	16) 段取りを適切に組むことが難しい	✓	G) 本人に分かりやすく予定や変更を伝える (時間の視点)
		17) なんとなく、だいたいなどのイメージを持ちにくい		
		18) 今やることを自分で判断することが難しい	✓	H) 始まりや終わりを分かりやすいようにする (時間の視点・場所の視点)
	変化への対応が難しい	19) 先の予測をすることが難しい		
		20) 臨機応変に判断することが難しい		
		21) 自分のやり方から抜け出すことが難しい		
	物の一部に対する強い興味	22) 興味関心が狭くて強い		J) 最初から正しい方法で行うことができるように する (方法の視点)
		23) 細部が気になり違いに敏感		
		24) 少しの違いで大きな不安を感じる		

(背景となる特性)

(本人の具体的な行動)

「段取りを適切に組むことが難しい」ので、「いつまで部屋で過ごしたらいいのかわからない不安になっている」かもしれない。

環境確認シート

環境確認シート

項目	環境確認の視点	具体的な環境
人	指示は何で出していますか（言葉・指さし・実物・紙に書いて等） 指示の量は適切ですか 指示のタイミングは適切ですか 支援をするときの立ち位置は適切ですか その他	職員は言葉での指示（話し言葉）
物	見ると勘違いするような物がありますか 見ると気になるような物が見えていますか 物の量で気づいたことはありますか その他	部屋には何もなく、衣類に注目が行く。
場所	何をすべき場所なのか見ればわかるようになっていませんか 同じ場所で複数の目的の活動をしていますか 整理整頓はできていますか 気が散りやすい環境になっていませんか その他	いつまで居室にいていいのかわからない、何をしたいのかわからない。
状況	本人の体調はいつもと比べてどうですか その活動の前に気になるできごとはありませんでしたか その活動の内容に本人の苦手な動作や感触などが含まれていませんか その活動の目的（どうするのか、どうなったら終わるのかなど）は理解できていますか その他	
音	その場所にはどんな音がしていましたか その中に本人が苦手そうなものはありますか	
気温	その場所の気温は何度くらいでしたか（あるいは暑かった・寒かった等） その気温は本人にとって快適なものです	
湿度	その場所の湿度は何%くらいでしたか（あるいは蒸していた・乾燥していた等） その湿度は本人にとって快適なものです	
臭い	その場所にはどんな臭いがしていましたか その中に本人が苦手そうなものはありますか	
その他	その他本人が不安定になる要因になるかもしれないもの	

強み（ストレングス）確認シート

本人の強み（ストレングス）	活かせそうな場面や状況
<p>わかること・できること</p> <p>例) なくなったら終わり、ペットボトルのふたを開ける ハサミを使うのが上手 など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字（ひらがな）の読み書きができる。 ・タオルたたみができる。 ・ハサミが使える。 ・絵の理解がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文字で日課の流れを伝える。 ・絵カードの理解があるため、絵カードと文字の要求（発信）ボードを使えるのではないか。
<p>好きなこと（遊び方、過ごし方、キャラクターなど）</p> <p>やりたがること</p> <p>例) ハンモックで揺れる ○○のキャラクター ピッタリはまる 色を合わせる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を聴く。 ・タブレットで検索して行きたい場所を探す。 ・ブランコ ・特定の職員との言葉遊び 	
<p>得意なこと（これには助けられているなど）見方を変えれば得意かもしれないこと</p> <p>例) 目的がわかれば待つことができる 変更は苦手だがいつもと同じことはできる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物を運んだりするお手伝い。 ・やることが明確だと習慣化することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食後の片づけ ・運搬（物品・洗濯物）
<p>その他</p>	

課題となっている行動 衣類破って異食する

本人の特性

- 【社会性】
状況の理解が難しい
 - ・周囲の様子から期待されていることを理解するのが難しい。
 - ・見えないものの理解するのが難しい。
- 【コミュニケーション】
発信が難しい
 - ・話し言葉で伝えることが難しい。
- 【想像力】
自分で予定を立てるのが難しい
 - ・今やることを判断することが難しい
 - ・段取りを適切に組むことが難しい。

環境・状況

- ・職員は言葉での指示。
- ・いつまで居室にいていいのか、何をしていたのか分からない。
- ・居室は異食があるため、何も無い環境。

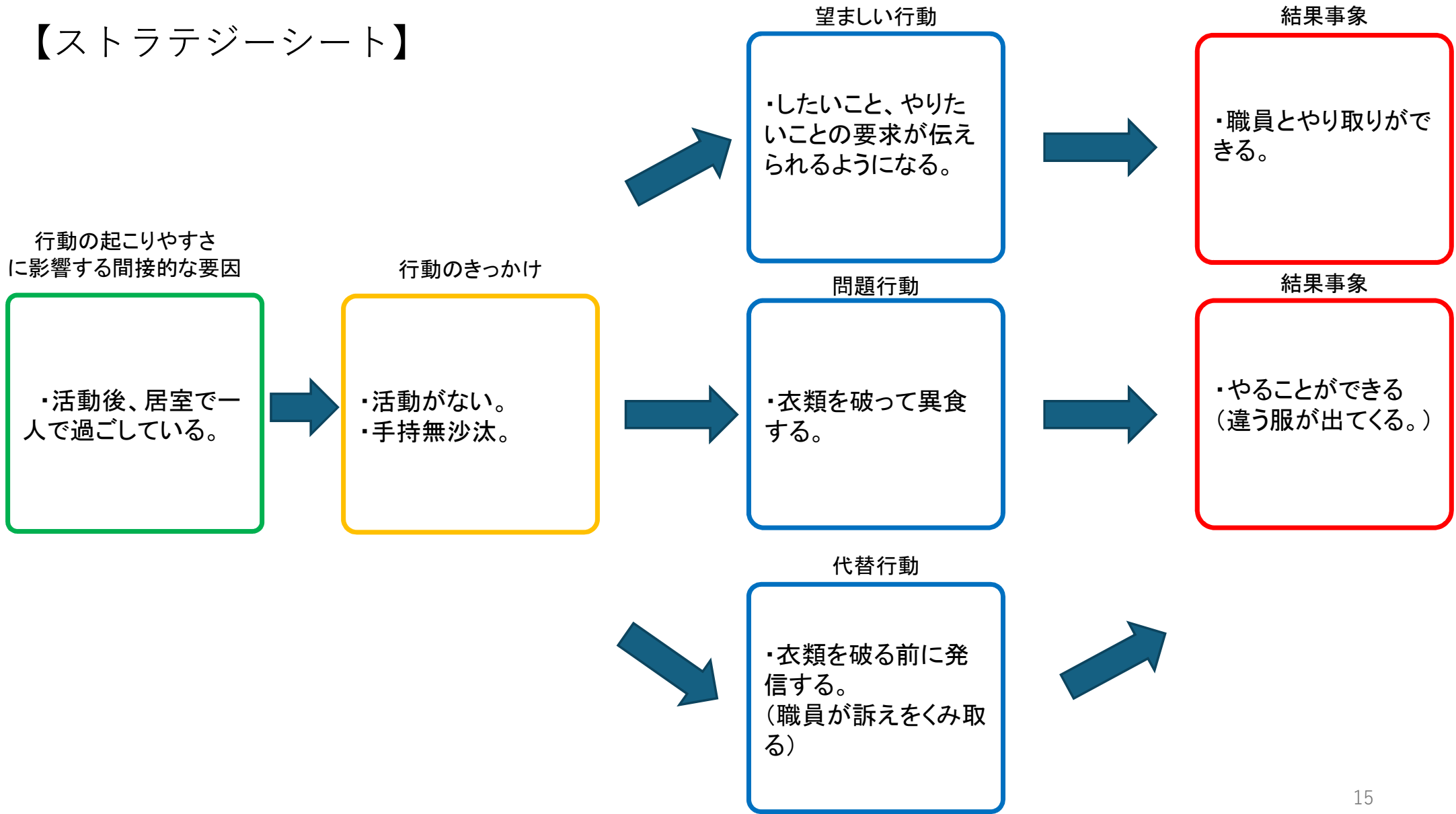
必要なサポート

- (支援のアイデア)
 - ・「いつ」「どこで」「なにを」の情報を見てわかるように伝える。(方法の視点・やり取りの視点)
 - ・本人が発信しやすいツールを(文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など)提供する。(やり取り・見え方の視点)
 - ・本人に分かりやすく予定や変更を伝える。(時間の視点)

(本人の強み→活かせるような場面や状況)

- ・ひらがなの読み書きができる。→日課ボードを文字で提示。
- ・絵カードの理解がある。→絵カードと文字の要求カードが使えるのではないかな。

【ストラテジーシート】



間接的な要因に関する方略

- ・1日のスケジュールを分かるように提示する。

行動のきっかけに関する方略

- ・職員と一緒に行動し、本人が楽しんでいる（楽しめる）活動を提供する。

- ・職員と一緒に活動を行い、出来ることを増やしていく。

行動を指導するための方略

- ・やりたいこと、したいことを要求（発信）ボードを使って伝えられるように練習する。

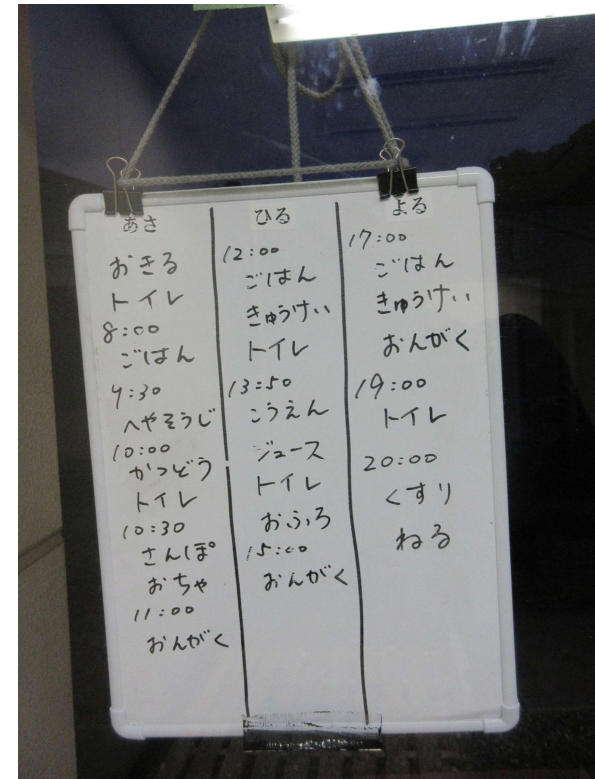
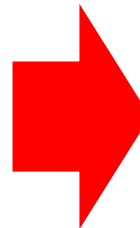
- ・職員と関わることで、安心・安全で楽しい場所とする。

- ・職員が本人との関わり方を知る。（自立課題）

結果事象に関する方略

- ・要求（発信）ボードで自分がしたいことを選べる。

Tさんの居室



支援手順書

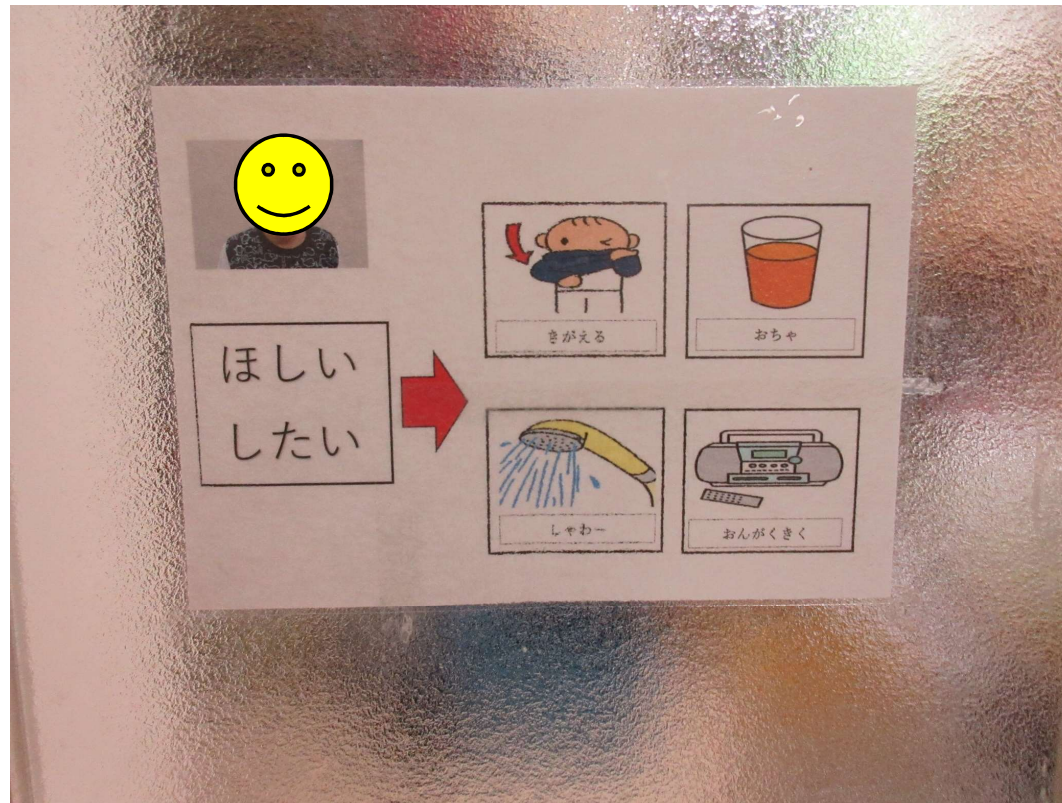
利用者名				
日付				
時間	活動	本人の動き	支援者の動き・留意点	本
	事前準備		スケジュールの準備 モップの準備 自立課題の準備 (バスタオル10枚・自立課題の確認) お金の準備	
9:30	予定の確認	日課表を本人が読み上げる	自室に誘導	
	掃除	モップを受け取る モップを動かす モップを受け取る	モップを手渡す 拭く場所を指さし モップを受け取り片付ける	
	活動 課題1 バスタオルたたみ	バスタオルをたたむ 机にかさねる	自立課題の準備 バスタオル10枚を渡す	
	活動 課題2 マッチング	マッチングする	カゴから出して左側に置く	
	活動 課題3 ひらがな練習	ひらがな練習する	自立課題を片付ける	
	トイレ	トイレに行く	「トイレ」の声掛け	
10:30	園内散歩	靴を履く 散歩する	園内散歩と伝える 本人の右側を歩く 正門から出ようとする「棟に帰ります」声掛けする。	
	自由時間	お茶を飲む 音楽を聴く	お茶を渡す 音楽をセットして渡す	



12:00	昼食	手洗いをする ご飯を食べる	見守り
	自由時間	職員と過ごす	職員一緒に過ごす
13:50	公園散歩	日課を読み上げる 靴を履く 散歩する	日課の確認 公園ブランコと伝える
14:30	ジュース購入	ボタンを押す	自販機にお金を入れる
	トイレ	トイレに行く	トイレの声掛け
15:00	入浴	指示でタオルを動かす	石鹸をつけてタオルを渡す 洗う場所を指示する
15:30	自由時間		

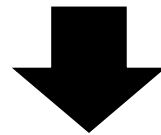


要求（発信）ボード



支援手順書を実施した結果

- 記録の書き方がバラバラ。
- 本人の行動（課題行動が起こった際、何をしていた衣類破りがあったのか）を記録した記録がない。
- 「問題なし」評価の記録になってしまっていた。



- 「問題なし」ではなく、支援をしてどうだったかという具体的な記録。